

屋久島町立 金岳小・金岳中学校

# 金岳だより

平成三十年十月十一日 発行

校長 吉田 康孝

台風二十四号により、百二十年以上の歴史をもつ西ノ湯温泉の建物と浴槽が消失するなど、ここ口之永良部島でも甚大な被害がもたらされました。日本列島を縦断した台風により、島外に在住される御家族や御親戚の皆様にも様々な影響が及ぼされた方もいらっしゃるのではないかと察しております。被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、九月二十三日(日)に金岳小中学校・島民合同大運動会が開催されました。八月十五日の新岳噴火警戒レベル四の警報を受け、一時期は大会の計画自体を危ぶむ声も聞かれましたが、例年通りに皆様の御協力により、地域と一体となった合同大運動会を盛大に実施することができ、大変有り難く感じております。

当日は絶好の運動会日和に恵まれ、大会スロ―ガン「火山のように燃え上がれ」不屈の心で駆け抜ける」のもと、中学三年生の貴船桜さん、安永和馬さん、藤山千夏さんの三名を中心に、本校児童生徒十一名が、競技・演技・応援・係に全力で取り組んでくれました。開会式では、「楽しく・全力・助け合い」をもとに、一人一人が光り輝く運動会を創り上げてほしいという話をさせていただきました。その願い通りに子供たちは、自分たちの運動会を全力で盛り上げていくこうとする気迫溢れる演技で、人々に多くの感動を与えてくれました。大規模校ではなかなか目にするのできない小規模校ならではの光景、一人で何種目も挑戦し、常に全力で取り組む子供たちの姿に心惹かれた方も多かったことと思います。当然の如く今年も熱戦が繰り広げられた校庭には、きつといつの時代にも一生懸命に取り組む子供たち、そして笑顔溢れる島民の方々の姿が存在し、様々な感動やドラマがあったことと思います。まさ

に「楽しく・全力・助け合い」の金岳小中学校・島民合同運動会の伝統の重みを実感した一日となりました。これからも、このすばらしい伝統を大切にしていきたいものです。

さて、運動会が終わると本年度も折り返し点となり、教育活動がますます充実する季節を迎えます。今年度も県下一斉に十一月一日から七日迄「地域が育む『かごしまの教育』」県民週間が実施されます。本校でも期間中は、学習発表会をはじめ、自由参観、お年寄りとのゴルフ大会・合同給食などを計画しております。特に今年度初めて実施するお年寄りとのランドゴルフ大会・合同給食は、子供たちも大変楽しみにしております。また恒例の学習発表会に加え、毎日の授業においても、少人数学習級のよさを生かした一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導をめざし取り組んでいます。ぜひ、この機会を通じ、子供たちの学校生活の様子を御覧いただければと思います。多数の皆様の御来校をお待ちしております。

## 小中・島民合同大運動会



九月二十三日(日)、透けるような真つ青な秋空の下、六時三十分、運動会実施を知らせる花火の快音が鳴り響きました。朝早くから、屋久島町教育委員会佐々木課長をはじめ多くの来賓の方々や島民の方々に御来場いただき、赤組団長貴船桜さん、白組団長藤山千夏さんを先頭に堂々とした入場行進が行われ開幕となりました。本年度も窮屈なグラウンドでの開催となりましたが、それぞれに工夫を凝らした種目が実施されました。幼児学級、小中学生による白熱したかけっこ・短距離走や、紅白に分かれてチームワークを發揮しての大玉リレーに観客から大きな拍手が送られていました。

本校運動会の一環の見所であり、伝統でもある集団演技「エイサー」や全校応援の練習には、中学生がそれぞれのリーダーとして、九月よりほぼ毎日昼休みや放課後を使い、取り組んできました。リーダーとしてのプレシャーや、また緊張感など一人一人が様々な思いを胸に秘め

ての当日の演技となりましたが、練習の成果を十二分に発揮し見事な舞を披露することができました。また全校応援の演舞も、児童生徒全員の気持ちを一つにした意気の揃った見応えのある演技となりました。

午後からの家庭教育学級のフオークダンスや、島民の方々の趣向を凝らした種目に笑いあり、歓声ありといずれもとても楽しむことができました。小中全校児童生徒一人一役で取り組んだ運動会は、白組優勝という結果で幕を閉じることとなりました。この日に向けて日々練習に取り組んだ児童生徒には、心に残る大運動会となりました。



## 校内研究授業



毎年金岳小中学校では一人一研究授業に取り組み、児童生徒の学力向上をめざしています。本年度は「極少人数学習級のよさを生かした指導法の研究」を研修テーマに掲げ、全職員で指導案検討・研究授業・授業研究の取組を実践しています。一学期は、「特別の教科 道徳」について研修しました。中間教諭による小学校二年生の研究授業と、岩下教諭による中学校一・二年生の研究授業をもとに、極少人数における「多面的・多角的に考えるための指導法」について、屋久島町教育委員会飯山指導主事に御来校いただき、研修を深めました。

二回目となる九月十日(月)には、屋久島町教育委員会溝上指導主事に御来校いただき、小学校は吉満教諭による五・六年生の道徳の研究授業を、中学校は田中教諭による三年生理科の研究授業を実施しました。「特別の教科 道徳」では、「考え議論する道徳」を、理科では、一生徒一実験により得られた実験結果の考察に基づき活発な意見交換をめざし、研究授業に取

り組みました。今回も前回同様、研究授業後に職員による研究討議がなされ、溝上指導主事より、金岳小中学校の研修に対して「研修の内容が深く、充実している」とお褒めの言葉をいただきました。十月中旬には算数・数学科における教科の系統性を研究の柱とした小中連携による研究授業、十一月には養護教諭とのチームティーチングによる健康教育に関する研究授業並びに中学校英語の研究授業と校内研究授業が続きます。またこの他にも、ステップアップ研修(五年経験者研修)としての研究授業も計画されており、昨年以上に児童生徒の学力向上に向け、日々校内研修の充実に全教諭一致団結して取り組んでいます。



## 全国学力・学習状況調査

小学校六年生・中学校三年生を対象に、四月十七日(火)に実施された全国学力・学習状況調査結果が届きましたのでお知らせいたします。小学六年生は、特に理科において優れておりました。算数では知識(A問題)は定着(プラス9%)していますが、活用する問題(B問題)では、特にグラフや表からの読み取りに課題が見られました。国語においては、道案内など話すことなどの「知識」領域は得意とするものの、主語述語を意識した文など「書くこと」の領域が、また活用問題では、話し合い活動における質問の意図や司会者の役割などに課題が見られました。中学三年生は、前回の小学六年時と比べ、三教科すべてにおいて通過率が高くなり、学力の定着が図られてきていることがわかりました。今回の調査結果では、三年前同様三教科の中では理科を得意としており、県平均とほぼ同じ通過率でした。ただ国語の「知識」領域の定着が弱く、話し合い活動に関する話題や方向性、司会者としての発言内容について、数学では、関数に関する知識の定着と資料の活用など理由を説明するような記述式の問題に課題が見られました。今回の結果で明らかになった課題に真摯に向き合い、学力のさらなる定着に取り組んでいきたいと思っております。

